

OneCNC XR9

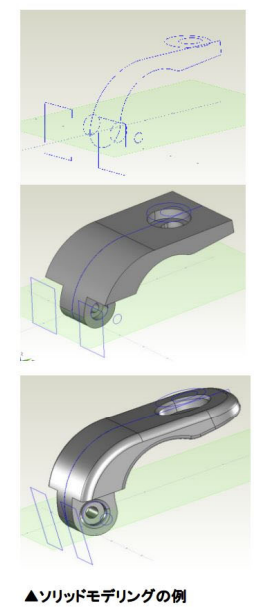
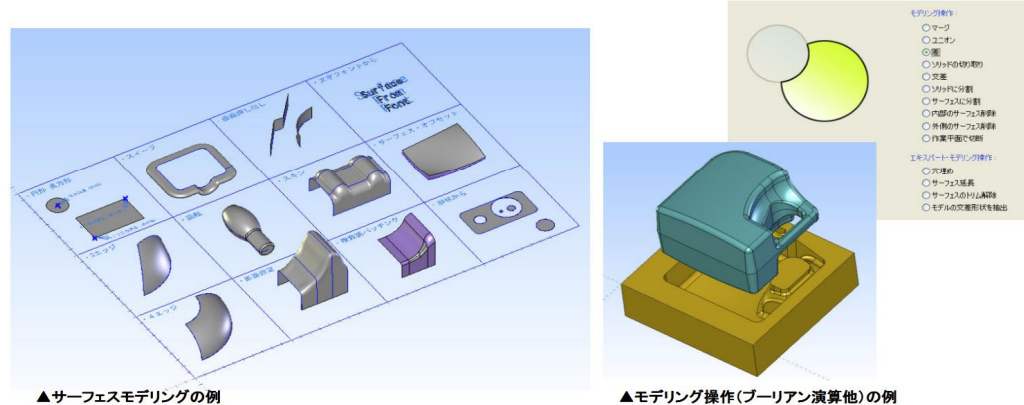


3次元モデリング機能について

サーフェス・ソリッド融合型の ハイブリッドモデリングシステムを採用

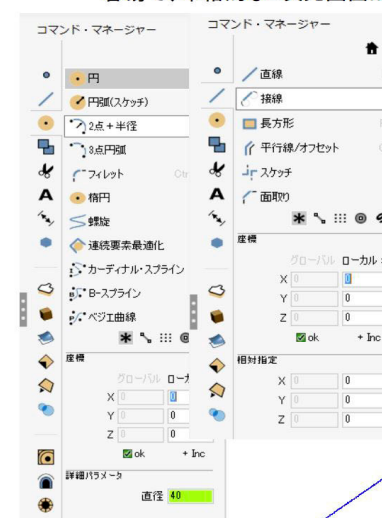
OneCNCではサーフェスとソリッドを融合させたハイブリッド モデリングシステムを採用しています。これにより、ソリッドモデルをサーフェスで切断したり、フィレットやシェル、ブーリアンなどはソリッドコマンドを使い、ソリッドモデルでは表現が難しい曲面部分などは、サーフェスコマンドを使うなど、設計者にストレスを感じさせないモデリング環境をご提供します。

- サーフェス
- ソリッド
- 押し出し
- モデリング操作
- レンダリング
- フィレット
- パーティング
- スケーリング
- シミュレーション
- 投影
- エッジ抽出(単一)
- エッジ抽出(サーフ)

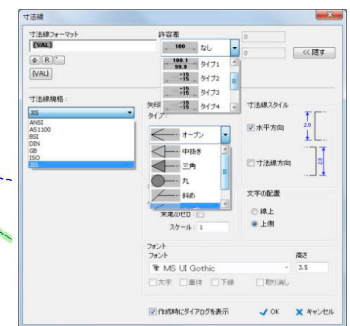
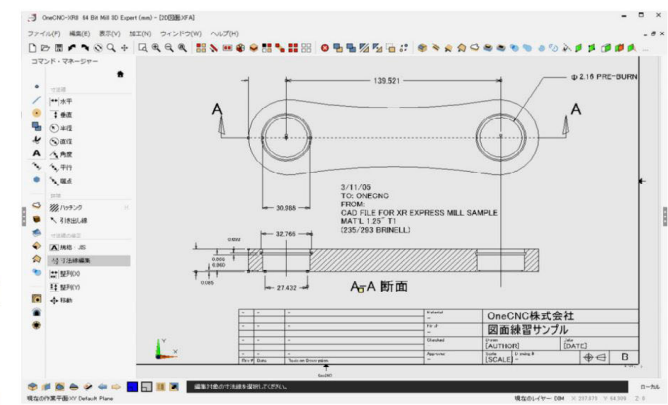


本格的な2次元図面が作図できます

OneCNCの全ての製品には、直感的な作図を支援するオートナビゲーション仕様(下記説明)が組み込まれた本格2次元CADが標準搭載されています。寸法線はもちろん、線色、線種、線幅などの属性を定義したり、レイヤーの管理も容易で、本格的な2次元図面が作成できます。

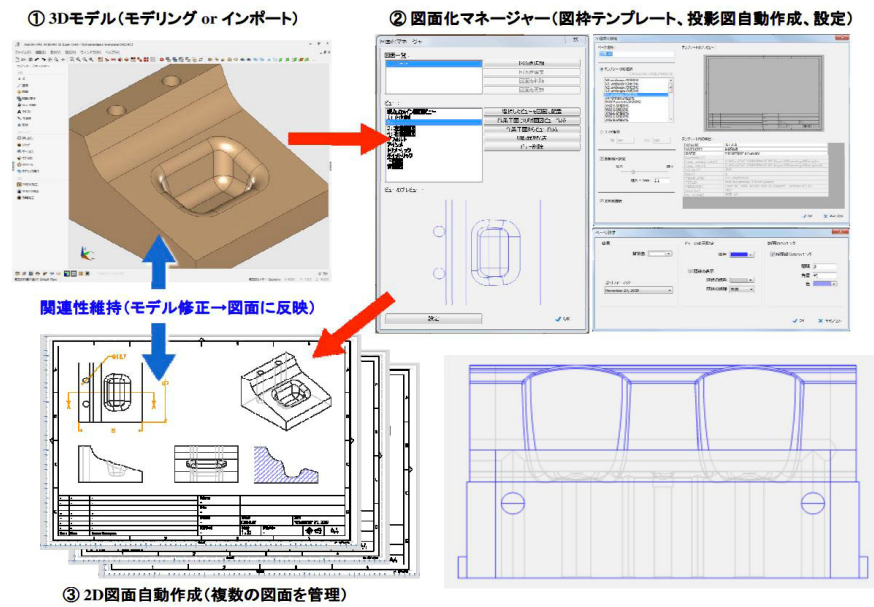


【オートナビゲーション仕様について】
オートカーソル機能:
 座標や要素をマウス操作で直感的に選択できるよう、端点、中点、中心点、交点、接点などをやさしくナビゲートします。
ダイナミック補助線機能:
 マウスカーソル周辺の図形要素を自動的にサーチして、水平線や垂直線、接線、仮想延長線などの補助線が自動表示されるので、補助線を作図する手間が省けます。
プレビュー表示機能:
 配置やサイズなどを確定する前に結果が仮想表示されるので、確定後にやり直すなどの無駄な作業が省けます。



3Dモデルから簡単操作で2D図面を自動作成

3Dモデルから簡単に2D図面を生成するためのツールとして、2D図面化機能が用意されています。2D図面化機能を使用すると、OneCNCで開いた3Dモデルを元に三面図やアイソメ図など隠線処理された投影図や断面図を自動生成し、2D図面として出力することができます。2D図面は、3Dモデルとセットで一つのONECNCファイルに保存され、ページをめくるように画面の切替が可能です。また、一旦作成された2D図面は、オリジナルの3Dモデルとの関連性が保たれており、3Dモデルの形状が変更された場合も、ボタン一つで2D図面を更新することができます。自動陰線処理、図枠テンプレート、縮図、寸法線、DXF/DWGフォーマットでの出力などにも対応しています。

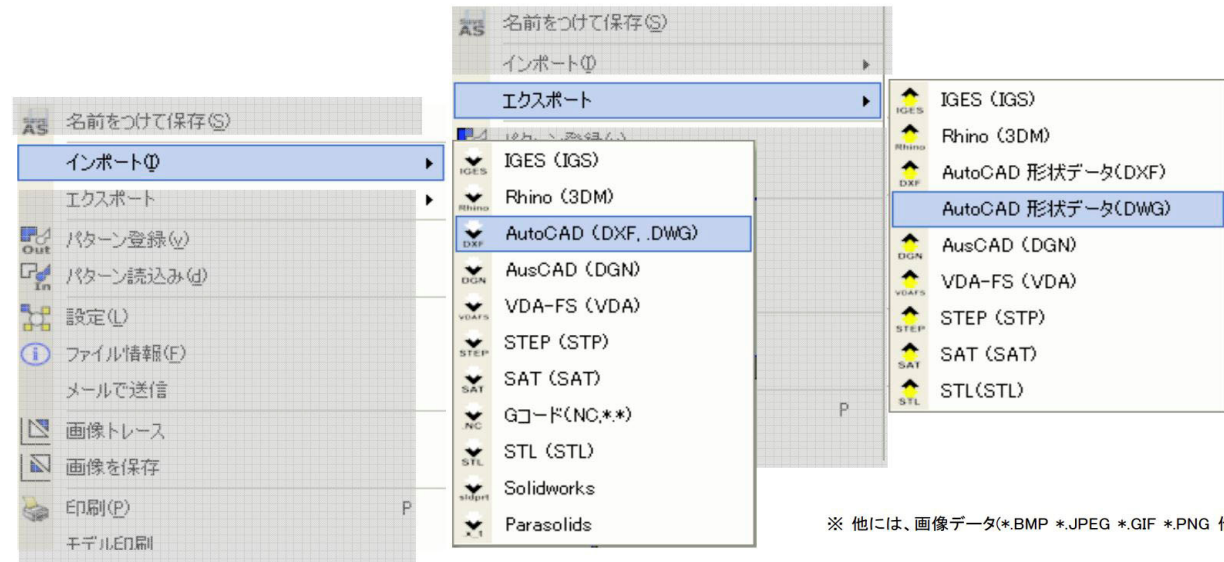


3D PDF形式での出力に対応

外部CADデータの読み込みについて

IGESなどの中間形式の読み込みも得意としています

OneCNCは外部のCADで作成されたIGESなどの中間形式の3次元データの読み込みにも大きな強みを持っています。特に他のCAMでは扱いきれないような大規模なモデルなども、面落ちなどはほとんど見られず、きれいに読み込むことができます。また、読み込んだ後も軽快にモデル操作が行えるグラフィック能力における強みもあります。



※ 他には、画像データ(*.BMP *.JPEG *.GIF *.PNG 他)も読み込みできます。

画像や文字フォントをCADデータに変換

スキャナーで取り込んだ画像や入力した文字も加工できます

OneCNCでは、画像データ(*.BMP *.JPEG *.GIF *.PNG 他)やテキスト文字を読み込み、輪郭形状をCADデータに変換することができます(ラスター/ベクター変換)。意匠デザインや、彫刻加工などに活用の幅が広がります。

